

< 運営推進会議における評価_様式例 > ※公表用

【事業所概要】

法人名	社会福祉法人 協同福祉会	事業所名	あすならホーム高田 看護小規模多機能
所在地	(〒 635-0062) 奈良県大和高田市磯野南 5-15		

【事業所の特徴、特に力を入れている点】

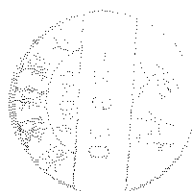
・退院直後の受け入れを行い、在宅でのケアの調整を行う。
 ・通い、訪問（看護・介護）、泊まりを必要に応じて柔軟に行うことにより、利用者様の状態観察や家族のレスパイトに繋がる。
 ・ターミナル期の受け入れを行い、在宅または連泊にて最期までその人らしいケアを行う。
 ・医療面での不安や心配ごと、看護師が常駐していることで安心を提供できる。

【自己評価の実施概要】

事業所自己評価 実施日	西暦 2025 年 12 月 18 日	従業者等自己評価 実施人数	(11) 人	※管理者を含む
----------------	---------------------	------------------	----------	---------

【運営推進会議における評価の実施概要】

実施日	西暦 2026 年 2 月 20 日	出席人数 (合計)	(18) 人	※自事業所職員を含む
出席者 (内訳)	<input type="checkbox"/> 自事業所職員 (6 人) <input type="checkbox"/> 市町村職員 (1 人) <input type="checkbox"/> 地域包括支援センター職員 (1 人) <input type="checkbox"/> 地域住民の代表者 (1 人) <input type="checkbox"/> 利用者 (1 人) <input type="checkbox"/> 利用者の家族 (1 人) <input type="checkbox"/> 知見を有する者 (1 人) <input type="checkbox"/> その他 (1 人)			



■ 前回の改善計画の進捗評価

項目	前回の改善計画	実施した具体的な取組	進捗評価
<p>I. 事業運営の評価 (評価項目 1～10)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ケアプランに対して定期的にアセスメントできよう、アセスメント力の向上を目指す。 ・年間の育成計画の作成を行い、職員のスキルアップを目指す。 ・個別学習計画の周知を行い、職員と共有する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・出来る限りケア会議を行い、ケアの提案を行っていた。 ・介護技術だけでなく、根拠の理解に努めた。 ・個々に、対話を行い指導した。 	<p>職員のレベルアップのための研修を行ったが、もっと取り組む機会を多くもったほうが良かった。</p> <p>職員個々の意識は高い。</p> <p>職員の受け止めがそれぞれ違いがあり、個別の対応も必要。</p>
<p>II. サービス提供等の評価</p>	<p>1. 利用者等の特性・変化に応じた専門的なサービス提供 (評価項目 11～27)</p> <p>2. 多機関・多職種との連携 (評価項目 28～31)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・喀痰吸引研修 ・医療ケアに対する主治医との連携 ・家族への説明とともに寄り添い。 	<p>研修が思うようにはいかなかった。</p> <p>医療的なケアの技術はあるが、それに伴うヘルパーの知識が不足していた。</p> <p>積極的な受け入れを行い、引き続き犬種に取り組んでもらいたい。</p>
	<ul style="list-style-type: none"> ・看護、介護だけでなくケアマネや栄養士なども含めての話し合いの場を作る。 ・他医療機関や他事業所との日ごろからの交流も含め、有事には連携出来るように努める。 	<ul style="list-style-type: none"> ・多職種での話し合いの場を持つ。 ・多事業や医療機関との顔の見える関係作り。 	<p>広報活動にて、顔の見える関係の構築はできた。</p> <p>また、NS 同行での広報活動も積極的に行なえた。</p> <p>情報ツールでの共有ができていた。</p> <p>医意欲的な取り組みがみられた。</p>
	<p>3. 誰でも安心して暮らせるまちづくりへの参画 (評価項目 32～41)</p>	<p>フレイル予防教室などの取り組み。</p> <p>喀痰吸引等安全委員会での手技の振り返り</p>	<p>フレイル予防教室にて看護師、栄養士を交えてサロンで行うことができた。</p> <p>喀痰吸引の対象者がいない状況ではあるが、既存の研修修了者へのフォローはできていた。</p> <p>積極的なサロン活動ができていた。</p> <p>喀痰吸引の対象者は、今後も積極的に受け入れ可能なアプローチの継続をお願いしたい。</p>

<p>III. 結果評価 (評価項目 42～44)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・看取りの積極的な受け入れを行い、最期まで、その人らしさを大切にケアを行う。 ・アセスメント力の強化を行い、利用者それぞれの目標達成にむけたケアの取り組みを行う。 	<p>積極的に看取りの受け入れをおこなっていく。ケアプランの提案を行っていく</p>	<p>毎月の看取りの対応はあり、受け入れは積極的であった。 NSのケアだけに頼りがちな部分もあり、ヘルパーへの教育は継続が必要 極的に受け入れしており、引き続きお願いします。</p>
-----------------------------------	--	--	---

※ 「前回の改善計画」 および 「実施した具体的な取組」 は事業所が記入し、「進捗評価」 は自己評価・運営推進会議における評価の総括を記載します
 ■ 今回の 「評価結果」 および 「改善計画」

項目	評価結果	改善計画
<p>I. 事業運営の評価 (評価項目 1～10)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・法人に看護小規模多機能独自の理念がないため自分たちで看護小規模多機能の理念を考え、作り上げる ・職員育成フェイルがあるが活用出来ない為、活用し人材育成を行う。 ・休憩の見える化をおこない、働きやすい職場風土を作る。 	<p>職員育成を行い、医療と介護が連携できることで、需要も高まると思われる。 看取りはもちろんであるが、在宅での生活が継続できる支援の構築をしてもらいたい。</p>
<p>II. サービス提供等の評価</p>	<p>1. 利用者等の特性・変化に合わせた専門的なサービス提供 (評価項目 11～27)</p> <p>看取りに対し、不安に思う、感じることもあるが、一例、一例実践を重ね、対応できる力量をつけていく。</p>	<p>運営推進会議で利用者やご家族から「あすならに繋がって良かった」という意見が聞かれます。</p>
<p>2. 多機関・多職種との連携 (評価項目 28～31)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・看護 介護間でより密にコミュニケーションを取り、連携を行い、一緒にアセスメントを作り上げる。 ・看護師と一緒にモニタリングを行い、家族に医療的なことについても安心してもらえ対応を行う。 	<p>運営推進会議に他機関、多職種が参加され、連携されていると思います。</p>
<p>3. 誰でも安心して暮らせるまちづくりへの参画 (評価項目)</p>	<p>施設で開催しているサロン、学習会、オレソジカフェに参加する。学習会で情報を発信し、地域の方々に知ってもらう。</p>	<p>今年度はオンライン予防教室もあり、精力的に活動されていた。</p>

目 32～41)		
III. 結果評価 (評価項目 42～44)	利用者の信頼を得て、在宅での看取りが行えるように繋げる。 利用者さんの思いをもっと聞き、達成するためチームケアを行 う。	ホームでの看取りは多く経験されている。 今後、在宅での看取りもお願ひします。

※自己評価・運営推進会議における評価の総括を記載します

番号	評価項目	事業所自己評価					運営推進会議における 意見等	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できている	おおそ できてい る	あまりで きていな い	全く できてい ない			
①	看護小規模多機能型居宅介護の特徴を踏まえた理念等の明確化とその実践							
1	○ サービスに求められる「① 医療ニーズの高い利用者の在宅生活の継続支援」、「② 在宅での看取りの支援」、「③生活機能の維持回復」、「④家族の負担軽減」、「⑤地域包括ケアへの貢献」を含む、独自の理念等を掲げている	3	6	2	0			
		<p>【具体的な状況・取組内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・退院受け入れ、ターミナルの受け入れを積極的にやっている。 ・ターミナル期には本人だけでなく、家族の思いにも寄り添いケアを行っている。 ・在宅が難しい状況であっても、日帰りが帰省できるよう支援を行っている。 ・困難事例は、地域包括と共有し相談を継続的に行っている。 ・ナースを中心に尿道カテーテルが必要な利用者の家族の負担を軽減を含めた支援をしている ・だいたいできているが、自宅での看取りはまだ経験なし ・週に一回帰れるように支援を行っている ・サービスからの必要性に応じて入院後に看多機や小規模への変更にてシヨート等を利用したり、また自宅に戻ってサービスを戻したりグループホームへの入所と、必要に応じて対応出来る流れも構築されている為 				<ul style="list-style-type: none"> ・困難事例などは看多機と包括とで情報共有しながら対応しています。 ・必要に応じて対応できるのが『あすならホーム高田』の強みです。利用者やご家族に寄り添うケアを引き続きお願いいたします。 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ ①～⑤の全てを含む理念等がある場合は「よくできている」 ✓ ①～⑤の一部を含む理念等が掲げられている場合は、「おおそできている」もしくは「あまりできていない」 ✓ 独自の理念等が明確化されていない場合は「全くできていない」 	

番号	評価項目	事業所自己評価					運営推進会議における 意見等	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		1	8	2	0	よく できている		
2	○ サービスの特徴および事業所の理念等について、職員がその内容を理解し、実践している	<p>【具体的な状況・取組内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・10の基本ケア ・医療がある方が多いため、生活を見る視点がまだ乏しい。 ・在宅、あすなら、病院等他の施設での看取りなのか、モニタリングの内容を共有している。 ・おおむねできている。能動的に動ける職員がまだ少ない印象。意欲や行動のサポート行えば対応してくれる印象。 ・実際に連携してそのような対応が出来ていくと思う。地域に根差したという部分でもサロンやフレイル、勉強会、取り組みはされている。 					<ul style="list-style-type: none"> ・生活を見る視点や能動的に動くには、それぞれ職員同士のサポートやコミュニケーションが大切ですね。よろしくお願ひします。 ・R7年10月からフレイル予防教室を実施されており、参加者は楽しく過ごされ活気が出ております。 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 「サービスの特徴および理念等を踏まえた実践」の充足度を評価します ✓ 独自の理念等が明確化されていない場合は「全くできていない」
(2) 人材の育成								
① 専門技術の向上のための取組								

番号	評価項目	事業所自己評価					運営推進会議における 意見等	評価の観点・ 評価にあたっての補足
		よく できている	おおよそ できている	あまりで きていない	全く できていない	0		
3	○ 職員との話し合いなどを通じて、各職員の中長期的な育成計画などを作成している	1	5	5	0	職員さんの退職、人手不足は業務も大変です。本部でも増やす努力をされているようですが、なかなか難しいと聞きました。一方で研修や試験の参加が出来ているとの声もあるので、積極的な参加よろしく願います。	<p>✓ 「育成計画の作成」の状況について、充足度を評価します</p> <p>✓ すべての職員について育成計画などを作成している場合は「よくできている」</p> <p>✓ 育成計画などを作成していない場合は「全くできていない」</p>	
4	○ 法人内外の研修を受ける機会を育成計画等に基づいて確保するなど、職員の専門技術の向上のための日常業務以外での機会を確保している	3	4	4	0	<p>・育成計画がたてられているとの事。うまく調整して受講できるようお願いします。</p> <p>・積極的に県の研修に参加されている事は、今後も続けていかれると良いと思います。</p>	<p>✓ 「専門技術の向上のための日常業務以外での機会の確保」について、充足度を評価します</p>	

番号	評価項目	事業所自己評価					運営推進会議における 意見等	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できている	おおよそ できている	あまりで きていない	全く できていない			
① 運営推進会議で得られた意見等の反映								
6	○ 運営推進会議で得られた要望、助言等を、サービスの提供等に反映させている	6	5	0	0	<p>人員的に難しいとは思いますが、せっかくの運営推進会議での意見や助言を取り入れていただけたらと思います。</p>	<p>✓ 「得られた要望・助言等のサービスへの反映」の視点から、充足度を評価します</p>	
		<p>【具体的な状況・取組内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ケア会議等を開き情報共有 ・運営推進会議の内容が不明確。 ・意見を取り入れる姿勢はあるが、現実的に厳しい人員体制の背景もある。 ・特に不満な事が無いので、出来ていると思う。 ・ケアマネから意向聞く ・出来ていることもあると思う。 						
② 職員が安心して働くことができる就業環境の整備								
7	○ 職員が、安心して働くことができる就業環境の整備に努めている	2	6	2	1	<p>全くできていないと感じる職員さんが居られます。フロー、話を聞く、されたいと思います。コミュニケーションが大事ですね。</p>	<p>✓ 「職員が、安心して働くことのできる就業環境」の充足度を評価します</p> <p>✓ 例えば、「職員の能力向上の支援」、「精神的な負担の軽減のための支援」、「労働時間への配慮」などが考えられます</p>	
		<p>【具体的な状況・取組内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・常に皆で協力しています ・人手不足から休憩時間の取り方を工夫する ・シフト調整の中で、個々の状況には配慮ができています。 ・安全に関して、人員不足で時間に追われる事が多いので、事故につながらないか不安に感じる事がある。 						

番号	評価項目	事業所自己評価					運営推進会議における 意見等	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できている	おおそ できてい る	あまりで きていな い	全く できてい ない			
		<p>・一部職員に偏りはあるが、安心して働ける環境下ではある。</p> <p>・休憩時間を取れない時があるので、改善が必要</p> <p>・法人としては出来ているかもしれないが、私が置かれている環境においては人手不足も長く続いてモチベーションも下がりが不安があります。</p>						
(4) 情報提供・共有のための基盤整備								
① 利用者等の状況に係る情報の随時更新・共有のための環境整備								
8	○ 利用者等の情報について、随時更新を行うとともに、必要に応じて職員間で迅速に共有できるよう工夫されている	7	3	1	0	<p>周知が薄く強化が必要との声があります。</p> <p>個々の捉え方、感じ方もあると思いますが、ご対応お願いします。</p>	<p>✓ 「情報の随時の更新」と「職員間で迅速に共有するための工夫」の2つの視点から、充足度を評価します</p>	
		<p>【具体的な状況・取組内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・記録ツールの活用 ・記録ツールでの共有はできているが、周知が薄く、強化が必要。 ・記録ツールの記載だけでなく、気になるとは話して共有出来る。 ・おおむねできている。臨機応変に対応している。 						

番号	評価項目	事業所自己評価					運営推進会議における 意見等	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できている	おおよそ できている	あまりで きていない	全く できていない			
(5) 安全管理の徹底								
① 各種の事故に対する安全管理								
9	○ サービス提供に係る利用者等および職員の安全確保のため、事業所においてその具体的な対策が講じられている	1	6	4	0	<ul style="list-style-type: none"> ・看護の必要な利用者へのケアは、ヒヤリハットな状況が多々あると思います。 ・何かあつてからの対応している印象が強いとの声もあります。未然に防ぐことができようお願ひします。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「各種の事故に対する予防・対策」の充足度を評価します。対策が求められる事項としては、例えば「医療・ケア事故の予防・対策」、「交通安全」、「夜間訪問時の防犯対策」、「個人情報保護」などが考えられます 	
② 災害等の緊急時の体制の構築								
10	○ 災害などの緊急時において	3	7	1	0	<ul style="list-style-type: none"> ・災害は長期化した時、利用 	<ul style="list-style-type: none"> ・「緊急時におけるサービス提供 	

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における 意見等	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できている	おおよそ できてい る	あまりで きていな い	全く できてい ない		
	も、サービス提供が継続でき るよう、職員、利用者、関 係機関の間で、具体的な対 応方針が共有されている					<p>者はもちろんですが、職員も 大変な状況になります。蓄電 池、水道、ガス、トイレなど 衛生面の対応ができるよう訓 練しておくことも必要です ね。</p> <p>・運営推進会議にて防災訓練 や避難訓練の報告がありまし た。</p>	<p>評価の視点・ 評価にあたっての補足</p> <p>のための備え」について、充足度 を評価します</p> <p>✓ 例えば、「安否確認方法の明確 化」、「連絡先リストの作成」、「医 療材料などの確保」、「災害時ケア のマニュアル化」などが考えられ ます</p>
II サービス提供等の評価							
1. 利用者等の特性・変化に応じた専門的なサービス提供							
(1) 利用者等の状況把握及びアセスメントに基づく計画の作成							
① 利用者等の24時間の暮らし全体に着目した、介護・看護面からの一体的なアセスメントの実施							
11	○ 在宅時の利用者の生活状況 や家族等介護者の状況等を 含む、利用者等の24時間の 暮らし全体に着目したアセ スメントが行われている	1	9	1	0	<p>情報共有が概ね出来ていて いる臨機応変に対応出来て いる方からの助言があると 良い。</p>	<p>✓ 「家族等も含めた24時間の暮ら し全体に着目したアセスメント」 の充足度を評価します</p> <p>✓ ケアが包括的に提供される看護 小規模多機能型居宅介護におい ては、家族等を含めた24時間の</p>

番号	評価項目	事業所自己評価					運営推進会議における 意見等	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できている	おおそ できてい る	あまりで きていな い	全く できてい ない	0		
12	○ 介護職と看護職がそれぞれの視点から実施したアセスメントの結果が、両職種の間で共有されている	2	7	2	0	<p>速慮や折り合いをつけることは、仕事をしていく上では出てくることですね。意見の言える関係性は、継続して下さい。</p>	<p>「介護職と看護職間でのアセスメント結果の共有」について、充足度を評価します</p> <p>✓ 介護・看護の両面から行われたアセスメントの結果は、その後のつき合わせなどを通じて、両職種で共有されることが望ましいといえます</p>	
② 利用者等の「尊厳の保持と自己実現の達成」を重視した計画の作成								
13	○ 家族を含む利用者等の考え	3	7	1	0	それぞれの思いを受け止め	<p>✓ 「家族等の考えを含めた計画の</p>	

番号	評価項目	事業所自己評価					運営推進会議における意見等	評価の視点・評価にあたっての補足
		よくできている	おおよそできてい	あまりできていな	全くできていな			
14	○ 利用者の有する能力を最大限に活かした、「心身の機能の維持回復」「生活機能の維持又は向上」を目指すことを重視した計画が作成されている	3	5	3	0	<p>・それぞれの利用者に応じた計画で実現できるようお願ひします。</p>	<p>✓ 「利用者の有する能力を活かした、心身機能の維持回復を重視した計画の作成」について、充足度を評価します</p> <p>✓ 「利用者が尊厳を持って、その有する能力に応じ地域において自立した日常生活を営む」ために、必要な視点であるといえます</p>	
15	○ 利用者の今後の状況変化の	2	8	1	0		<p>✓ 「状況変化の予測」と「リスク管</p>	
③ 利用者の今後の状況変化の予測と、リスク管理を踏まえた計画の作成								

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における 意見等	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できている	おおよそ できている	あまりで きていない	全く できていない		
	予測と、リスク管理を踏まえた計画が作成されている						<p>評価の視点・ 評価にあたっての補足</p> <p>理」の2つの視点から、充足度を評価します</p> <p>✓ 介護・看護が一体的に提供される看護小規模多機能型居宅介護においては、特に看護職による予測などを踏まえて計画を作成することが重要です</p>
(2) 利用者等の状況変化への迅速な対応とケアマネジメントの実践							
① 継続したアセスメントを通じた、利用者等の状況変化の早期把握と計画への反映							
16	<input type="radio"/> サービス提供を通じた継続的なアセスメントにより、利用者等の状況変化を早期に把握し、計画への適宜反映が行われている	3	5	3	0	<p>遅れがちと感じている職員がいる。相談したり、ケアマネに報告して、早期に把握、計画に反映できるようお願いします。</p>	<p>✓ 「早期の把握」と「計画への適宜反映」の2つの視点から、充足度を評価します</p>
② 居宅への訪問を含む、利用者等の暮らし全体に着目したアセスメントの実施と計画への反映							
17	<input type="radio"/> 通い・泊まりの利用に過度に偏らないよう、適時適切に利用者宅を訪問することで、家族等を含めた居宅での生活状況の変化を継続的に	1	7	3	0	<p>・運転免許の無い方はおられますか？もし、おられたら、うまく情報共有して利用者の状況の把握が必要です。 ・泊まりに偏らず、訪問、通</p>	<p>✓ 「訪問による、家族等を含めた居宅での生活状況の変化の継続的な把握」という視点から、充足度を評価します</p> <p>✓ 訪問によるケアの提供は、家族等</p>

番号	評価項目	事業所自己評価					運営推進会議における 意見等	評価の観点・ 評価にあたっての補足
		よく できている	おおよそ できている	あまりで きていな	全く できていな			
	に把握している						のサービスを組み合わせて、ゆくゆくは在宅生活を自 指せればと思います。	を含めた居宅での生活状況を把 握するためにも重要です
③ 利用者等の状況変化や目標の達成状況等に関する関係多職種との情報共有								
18	○ 利用者等の状況変化や目標 の達成状況等について、主 治医など、事業所内外を含 む関係多職種と情報が共有 されている	3	5	3	0	<p>【具体的な状況・取組内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・家族や本人との話し合いの内容を共有し 達成に向けて情報共有している。 ・モニタリングの内容の共有、朝礼なども 話あいがあがる。 ・できている ・LINE や電話等でお互いに連絡共有されて いると思う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・あまり出来ていないと感じ ている方のフォローをお願い します。 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 「利用者等の状況変化や目標の 達成状況等の事業所内外を含む 関係多職種との情報共有」につい て、充足度を評価します
(3)介護職・看護職の協働による一体的なサービスの提供								
① 介護職と看護職の相互の専門性を生かした柔軟なサービスの提供								
19	○ 介護職と看護職のそれぞれ の専門性を最大限に活かし ながら、柔軟な役割分担が 行われている	2	4	4	1	<p>【具体的な状況・取組内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・介護人員不足により、看護師が医療的ケ アを行えないことがほとんど。 	<ul style="list-style-type: none"> あまり出来ていない、全くで きていないが半数ほどいま す。職員不足が影響している かもしれないが、出来てる人 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 「介護職と看護職の専門性を活 かした役割分担」について、充足 度を評価します ✓ 介護・看護が一体的に提供される

番号	評価項目	事業所自己評価					運営推進会議における 意見等	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できている	おおそ できてい	あまりで きていな	全く できてい	全く できてい		
20	○利用者等の状況について、介護職と看護職が互いに情報を共有し対応策を検討するなど、両職種間の連携が行われている	4	5	2	0	0	タブレットやスマホで情報共有されています。話し合いの時間が減っていることにもっとコミュニケーションをとりたいと思っています。良いことだと思います。不安をもたれないようお願いします。	<p>評価の視点・ 評価にあたっての補足</p> <p>看護小規模多機能型居宅介護では、効果的・効率的なサービス提供のために、各々の専門性を活かした役割分担や、業務の状況等に応じた柔軟な役割分担を行うことが重要です</p>
② 看護職から介護職への情報提供および提案								
21	○看護職から介護職に対して、疾病予防・病状の予後予測・心身の機能の維持回復などの観点から、情報提供や提案等を行っている	3	4	4	0	0	<p>新たな業務を増やす余裕はないけれど、仕事への意欲を感じる。</p> <p>「看護職の専門性を活かした、介護職への情報提供や提案等」について、充足度を評価します</p> <p>✓ このような情報提供や提案等は、看護職の専門性を活かした役割</p>	

番号	評価項目	事業所自己評価					運営推進会議における 意見等	評価の視点・ 評価にあたっての補足 の1つとして期待されます
		よく でき ている	おおよそ できてい る	あまりで きていな い	全く できてい ない			
(4)利用者等との情報及び意識の共有								
①利用者等に対するサービスの趣旨及び特徴等についての情報提供								
22	○ サービスの趣旨および特徴等について、分かりやすく説明し、利用者等の理解を得ている	1	9	1	0	説明、丁寧に分かり易くされ てるとの事。ありがとうございます。 ・契約時やモニタリング時に行っている。 ・理解度は利用者により変わるが、わかりやすい声かけを心掛けている ・おおむねできている ・理解して利用されている。	✓ 「利用者等の理解」について、充足度を評価します	
		<p>【具体的な状況・取組内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新しい事は、はっきりと伝え、聞いてもらえない時は上司から声がけしてもらう。 						
②利用者等への「在宅での療養生活」に係る指導・説明								
23	○ 作成した計画の内容や在宅での療養生活の継続に向けて留意すべき点等について、分かりやすく説明し、利用者等の理解を得ている	4	5	2	0	✓ 「利用者等の理解」について、充足度を評価します		
		<p>【具体的な状況・取組内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・危ない事は、はっきりと伝え、聞いてもらえない時は上司から声がけしてもらう。 						

番号	評価項目	事業所自己評価					運営推進会議における 意見等	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できている	おおよそ できている	あまりで きていな	全く できていな	0		
24	○ 利用者等が行う医療処置や医療機器の取り扱い方法、家族等が行うケアの提供方法等について、分かりやすく説明し、利用者等の理解を得ている	3	7	1	0		<p>「利用者等の理解」について、充足度を評価します</p>	
③ 重度化した場合や終末期における対応方針の、利用者等との相談と共有								
25	○ 利用者本人(意思の決定・表示ができない場合は家族等)の希望や意向を把握し、サービスの提供に反映して	4	6	1	0	<p>過剰傾向と感じてる職員への対応をお願いしたい。</p>	<p>「サービス提供への適切な反映」について、充足度を評価します</p>	

番号	評価項目	事業所自己評価					運営推進会議における 意見等	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく でき て い る	おおよそ でき て い る	あまり でき て い ない	全く でき て い ない	0		
26	在宅生活の継続の可否を検討すべき状況を予め想定し、その際の対応方針等について、利用者等と相談・共有することができる						<p>納得が得られない時の対応、大変ですが、うまくいく方法を探してほしい。</p>	<p>✓ 「将来に発生し得る様々なリスクを想定した上での、対応策の検討と共有」について、充足度を評価します</p>
27	終末期ケアにおいて、利用者等に適切な時期を見計らって、予後および死までの経過を丁寧に説明し、説明した内容や利用者等の意向	4	6	1	0		<p>✓ 「予後および死までの経過の説明」と「記録の有無」の2つの観点から、充足度を評価します ✓ 「丁寧に説明し」且つ「記録として残している」場合は「よくでき</p>	

番号	評価項目	事業所自己評価					運営推進会議における 意見等	評価の視点・ 評価にあたっての補足 している]
		よく できている	おおよそ できている	あまりで きていない	全く できていない			
	等を記録として残している							
2. 多機関・多職種との連携								
(1) 病院・施設等との連携による円滑で切れ目のないケアの提供								
① 病院・施設等との連携や情報共有等による、在宅生活への円滑な移行								
28	○ 病院・施設等との連携・情報共有等により、病院・施設等からの、利用者の円滑な在宅生活への移行を支援している	3	6	2	0	<p>【具体的な状況・取組内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・看護師からの情報共有の徹底 ・退院前から病院や施設と連絡をとり、サードエントリ前にカンファレンスや面会で本人の意向や状況を知れるようにしている。 ・緊急シートの受け入れなど連携している段階を踏んでおこなっている ・なるべく受け入れてサービスの提供がされていると思う。 	<p>本人の意向や状況が知れるようになってきていることは良い。あまり出来ていないなどの意見にはフォローをお願いします。</p>	<p>✓ 「利用者の円滑な在宅生活への移行」について、充足度を評価します</p> <p>✓ 例えば、「退院・退所前のカンファレンスへの参加」、「利用者等に係る病院・施設等との継続した情報共有」などの取組が考えられます</p>
② 入院・入所の可能性がある利用者についての、主治医等との対応方針の共有								
29	○ すべての利用者について、緊急時の対応方針等を、主治医等と相談・共有することができている	3	6	2	0	<p>【具体的な状況・取組内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・主治医へ看護師より家族の意向を伝えられている。 	<p>看護師中心の対応が多くあるが、介護士の積極性も伸ばしてもらいたい。</p>	<p>✓ 「緊急時の対応方針等」の主治医等との相談・共有」を評価します</p> <p>✓ 利用者の状態変化・家族等介護者の状況の変化など、実際に発生す</p>

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における意見等	評価の視点・評価にあたっての補足
		よくできている	おおよそできてい	あまりできていな	全くできていな		
30	<p>③ 地域の医療機関等との連携による、急変時・休日夜間等に対応可能な体制の構築</p> <p>○ 地域の医療機関等との連携により、休日夜間等を含めて、すべての利用者について、急変時に即座に対応が可能な体制が構築されている</p>	3	6	2	0	<p>【具体的な状況・取組内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・オンラインでの対応 ・一部、医療が切れている利用者がある。 ・出来る範囲で受け入れている ・夜間マニュアルがあるのでそれに沿って対応している ・いつも連携対応してもらえようになっている。 	<p>✓ 「即座な対応が可能な体制の構築」について、充足度を評価します</p>
<p>(2) 多職種との連携体制の構築</p>							
<p>① 運営推進会議等における、利用者のために必要となる包括的なサポートについての、多職種による検討</p>							
31	○ 運営推進会議等において、	2	6	3	0		<p>✓ 「利用者のために必要となる、介</p>

番号	評価項目	事業所自己評価					運営推進会議における 意見等	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できている	おおよそ できている	あまりで きていない	全く できていない			
	利用者のために必要と考えられる包括的なサポートについて、民生委員・地域包括支援センター・市区町村職員等への情報提供や提案が行われている						<ul style="list-style-type: none"> ・公務の都合で参加できない事があります。 ・可能な限り参加しているが、業務上難しいこともある。 ・会議では、あすなら学習会や講演会などの情報提供があった。 ・情報共有、提供されている。 ・サロンや学習会に職員も参加しており、事例発表も聞いている。 	<p>護保険外のサービスやインフォর্মールサポート等を含めたケアの提供について、多職種とともに検討・支援を行っていくなどの取組」の充足度を評価します</p> <p>✓ そのような取組をしたことがない場合は「全くできていない」</p> <p>✓ 民生委員のみでなく、自治会長や町会長などの住民代表も対象です</p>
<h3>3. 誰でも安心して暮らせるまちづくりへの参画</h3>								
<h4>(1) 地域への積極的な情報発信及び提案</h4>								
① サービスの概要及び効果等の、地域に向けた積極的な情報の発信								
32	<input type="radio"/> 運営推進会議の記録について、誰でも見ることができ るような方法での情報発信 が、迅速に行われている	2	7	1	1	1	<ul style="list-style-type: none"> ・全職員での把握が必要。 ・引き続き、地域への発信を お願いしたい。 	<p>✓ 「誰でも見ることができ る方法での情報発信」と「迅速な情報 発信」の2つの視点から、充足度を 評価します</p>
	<p>【具体的な状況・取組内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・記録はできているが全職員が記録の場所の把握ができていない。 ・オンラインカフェの実施 している ・公開されている。 							

番号	評価項目	事業所自己評価					運営推進会議における 意見等	評価の観点・ 評価にあたっての補足
		よく できている	おおそ できている	あまりで きていな い	全く できていな い	2		
33	○カービスの概要や地域において果たす役割等について、正しい理解を広めるため、地域住民向けの積極的な啓発活動が行われている	2	5	4	0	<ul style="list-style-type: none"> ・サロンやフレイ子防教室、春秋の学習会、まちの相談室等の広報活動、啓発活動が行われている。 ・サロン活動が活発である。 ・地域への発信を引き続きお願いしたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 「積極的な啓発活動」について、評価する項目です ✓ 例として、「チラシ等の配布」や「地域説明会の実施」などの取組が考えられます。 ✓ 利用者や職員の確保のみを目的とした活動等は除きます 	
(2) 医療ニーズの高い利用者の在宅での療養生活を支える、地域拠点としての機能の発揮								
① 看護小規模多機能型居宅介護事業所の登録者以外を含む、地域への訪問看護の積極的な提供								
34	○ 看護小規模多機能型居宅介護事業所の登録者以外を対象とした訪問看護を積極的に実施している	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p style="text-align: center;">【具体的な状況・取組内容】</p> <p style="text-align: center;">指定なし</p> </div>					<ul style="list-style-type: none"> ✓ 「指定訪問看護事業所の指定を併せて受けている事業所」のみが対象です。該当しない場合は、実施状況欄は無記入で、【具体的な状況・取組内容】欄に「指定なし」と記入してください ✓ 「登録者以外を対象とした訪問看護」を実施していない場合は、「全くできていない」 	

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における 意見等	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できている	おおよそ できている	あまりで きていない	全く できていない		
② 医療ニーズの高い要介護者の積極的な受け入れ							
35	○ 「たん吸引」を必要とする 要介護者を受け入れること ができる体制が整っており、 積極的に受け入れている	2 4 4 1				<ul style="list-style-type: none"> ・積極的な受け入れは難しい ようです。調整して、取得で きるようお願いします。 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 「積極的な受け入れ」について、 充足度を評価してください ✓ 「受け入れることができる体制」 が整っていない場合は、「全くで きていない」 ✓ 「あまりできていない」～「よく できている」は、その「積極性」 の視点から、充足度を評価します
		【具体的な状況・取組内容】 ・介護士の吸引資格を持つスタッフが少ない ・喀痰吸引の指定事業所は取得したが、研 修が進んでいない。 ・看護師が対応している。 ・受け入れられる体制ではある ・夜勤者の研修も行われているし、病院と相 談して受け入れられる範囲では受け入れら れていると思う。					
36	○ 「人工呼吸器」を必要とす る要介護者を受け入れるこ とができる体制が整ってお り、積極的に受け入れている	0 4 2 5				<ul style="list-style-type: none"> ・・体制が整えられるよう調整 をお願いします。 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 「積極的な受け入れ」について、 充足度を評価してください ✓ 「受け入れることができる体制」 が整っていない場合は、「全くで きていない」 ✓ 「あまりできていない」～「よく できている」は、その「積極性」 の視点から、充足度を評価します
		【具体的な状況・取組内容】 現状、受け入れたことがない。 可能なかわからない。判断は専門職の意 見に従う。 受け入れ可能 現在は居られないが出来ていると思う。					

番号	評価項目	事業所自己評価					運営推進会議における 意見等	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できている	おおよそ できている	あまりで きていない	全く できていない	0		
37	○ 「看取り支援」を必要とする要介護者を受け入れることができる体制が整っており、積極的に受け入れている	4	5	2	0	<p>・ケアのできる体制づくりはできていない。積極的な受け入れをお願いします。</p>	<p>✓ 「積極的な受け入れ」について、充足度を評価してください</p> <p>✓ 「受け入れることができる体制」が整っていない場合は、「全くできていない」</p> <p>✓ 「あまりできていない」～「よくできている」は、その「積極性」の観点から、充足度を評価します</p>	
<p>(3) 地域包括ケアシステムの構築に向けての、まちづくりへの参画</p>								
<p>① 行政の地域包括ケアシステム構築に係る方針や計画の理解</p>								
38	○ 管理者および職員が、行政が介護保険事業計画等で掲げている、地域包括ケアシステムの構築方針や計画の内容等について理解している	2	5	4	0	<p>・会議で共有、理解して活動している職員からのフィードバックをお願いします。</p>	<p>✓ 「内容等の理解」について、その充足度を評価します</p> <p>✓ 地域包括ケアシステムの構築にあたっては、その中で各々が果たすべき役割を、明確に理解することが必要であるといえます</p> <p>✓ 地域包括ケアシステムの構築方</p>	

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における 意見等	評価の観点・ 評価にあたっての補足
		よく できている	おおよそ できている	あまりで きていない	全く できていない		
②	サービス提供における、(特定の建物等に限定しない) 地域への展開						
39	○ サービスの提供エリアについて、特定の集合住宅等に限定せず、地域に対して積極的にサービスを提供している	3	6	2	0	<ul style="list-style-type: none"> ・地域住民がサロンで学べている。 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 「特定の集合住宅等に限定しない、地域への積極的な展開」について、充足度を評価します ✓ 看護小規模多機能型居宅介護は、特定の集合住宅等に限定することなく、地域全体の在宅療養を支える核として機能していくことが期待されます ✓ 特定の集合住宅等のみを対象としている場合は「全くできていない」
③	安心して暮らせるまちづくりに向けた、関係者等への積極的な課題提起、改善策の検討等						
40	○ 介護・看護の観点から、地域の関係者に対し、必要に応じて課題提起や改善策の提案等が行われている	0	6	4	1	<ul style="list-style-type: none"> ・地域住民がサロンで学べている。 ・地域住民がサロンで学べている。 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 「課題提起や改善策の提案等の取組」について、その充足度を評価します ✓ 今後は、サービスの提供等を通じて得た情報や知見、多様な関係者とのネットワーク等を活用し、必要となる保険外サービスやインフォーマルサービスの開発・活用等、利用者等のみでなく地域にお

番号	評価項目	事業所自己評価					運営推進会議における 意見等	評価の観点・ 評価にあたっての補足
		よく できている	おおよそ できている	あまりで きていない	全く できていない	0		
41	○ 家族等や近隣住民などに対し、その介護力の引き出しや向上のための具体的な取組等が行われている	0	6	4	1	<p>・具体的な取り組みができて いる。職員のサロンの参加 あり、相談や会話など充実し ている。</p> <p>・引き続き、取り組み続けて下 さい。</p>	<p>評価の観点・ 評価にあたっての補足</p> <p>ける課題や改善策を関係者に対 して提案していくなどの役割も 期待されます</p> <p>そのような取組をしたことがな い場合は、「全くできていない」</p> <p>✓ 「家族等や近隣住民に対する、介 護力の引き出しや向上のための 取組」について、その充足度を評 価します</p> <p>✓ 今後は、利用者への家族等や近隣 住民の関わりを促しながら、関係 者全員の介護力を最大限に高め ることにより、在宅での療養生活 を支えていくための環境を整え ていくなどの役割も期待されま す</p> <p>✓ そのような取組をしたことがな い場合は、「全くできていない」</p>	

番号	評価項目	事業所自己評価	運営推進会議における意見等	評価の視点・評価にあたっての補足
Ⅲ 結果評価				
① 計画目標の達成				
42	○ サービスの導入により、利用者ごとの計画目標が達成されている	<p>1. ほぼ全ての利用者について、達成されている⇒27.3%</p> <p>2. 利用者の2/3くらいについて、達成されている⇒63.6%</p> <p>3. 利用者の1/3くらいについて、達成されている⇒9.1%</p> <p>4. 利用者の1/3には満たない</p> <p>【具体的な状況・取組内容】 新規の方は関わりをもってからとなる達成している まあ出来ていると思う。</p>		<p>✓ 「計画目標の達成」について、評価します</p>
②	在宅での療養生活の継続に対する安心感			
43	○ サービスの導入により、利用者およびその家族等において、医療が必要な状況下においての在宅での療養生活の継続に対し、安心感が得られている	<p>1. ほぼ全ての利用者について、達成されている⇒35.4%</p> <p>2. 利用者の2/3くらいについて、達成されている⇒54.5%</p> <p>3. 利用者の1/3くらいについて、達成されている⇒</p> <p>4. 利用者の1/3には満たない⇒9.1%</p> <p>【具体的な状況・取組内容】 訪問している 都度対応している まあ問題ないと思う。</p>		<p>✓ 在宅での看取りを除く、全ての利用者およびその家族等に対し、サービスの提供により実現された「医療が必要な状況下においての、在宅での療養生活の継続に対する安心感」について、評価します</p>

番号	評価項目	事業所自己評価	運営推進会議における意見等	評価の視点・評価にあたっての補足
44	<p>○ サービスの導入により、在宅での看取りを希望する利用者およびその家族等において、在宅での看取りに対する安心感が得られている</p>	<p>1. ほぼ全ての利用者について、達成されている⇒27.3%</p> <p>2. 利用者の2/3くらいについて、達成されている⇒36.4%</p> <p>3. 利用者の1/3くらいについて、達成されている⇒36.4%</p> <p>4. 利用者の1/3には満たない</p> <p>5. 看取りの希望者はいない</p> <p>【具体的な状況・取組内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人員不足により看護師すら介護業務に追われており、十分なケアができる状況にない。 ・具体的でない方はあいまい。 ・できている ・問題ないと思う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・人員不足などの課題はあるが、在宅の看取りの希望にもこたえられており安心感が得られている。 ・職員を増やすことが課題 	<p>✓ 在宅での看取りを希望する利用者およびその家族等に対し、サービスの提供により実現された「在宅での看取りに対する安心感」について、評価します</p> <p>✓ 在宅での看取りは、事業所内（通い・泊まり）での看取りを含みます</p> <p>✓ 在宅での看取りの希望者がいない場合は、「5. 看取りの希望者はいない」</p>